

## ①令和5年度の取組内容の報告及び令和6年度の活動方針

No.	令和5年度の取組内容			令和6年度の活動方針
	主な課題	対応及び経過	成果及び結果	
1	【就学時の放課後等デイサービス利用に関する課題】 年長児における就学を見据えての放デイ利用申し込みにおいて、(早いもの勝ちではなく)必要な人が利用できる環境が必要である。	・年長児の就学に向けた放デイ利用について実態調査を行った。 ・WG を2回開催し、実態調査から見える課題や対応策について協議を行った。	・放デイ事業所に対して実態調査を実施。 ・保護者への周知として、学校教育課と連携し、就学前相談会の機会等で保護者に周知する。 ・事業所情報の周知として、放デイの4月受け入れ情報を基幹が集約し発信する。 ・協力事業者へアンケート結果を共有。 ・児発管 MT、相談支援事業者連絡会での支援者の資質向上に向けた取組みを継続。	・こども部会としての取組は終了。 ・預かりニーズなど療育目的以外のニーズについての支援の在り方については、障がい福祉課が関係部署と連携を図りながら協議していく。進捗状況については部会に報告。必要時部会として協力していく。 <div>終結</div>
2	【教育と福祉の連携について】 ①教育と福祉の連携が必要  ②教育と福祉の連携がうまくいかないときの相談システムが機能していないのではないか。	①障がい福祉課として「福井市教育支援委員会」及び「福井市特別支援教育専門委員会」に参加。また、福井市特別支援教育専門委員会における地区別協議会(市内の特別支援学校や小中学校が地区別で構成される)に障がい福祉に係る事業所も参加。  ②教育と福祉の連携がうまくいっていないケースについての相談の流れについて確認。	①・7月に就学相談会では、就学予定の保護者に対して『発達障がいについて』『児童館・児童クラブの利用について』『障がい児通所支援の利用について』の説明会を行った。 ・10月の地区別協議会では、保育園・学校・福祉の関係者が一堂に会し、障がい児支援に関する講演と特別支援教育コーディネーターを中心にグループワークで事例検討を行った。強度行動障害の予防の観点も含めた支援の在り方や、教育と福祉の連携の重要性を共有した。  ②フロー図を見直し。福祉側からの相談は障がい福祉に意見を伝えていただき、内容を確認した上で必要時教育側に伝えていく。	・こども部会としての取組は終了。 ・引き続き、福祉と教育の連携を図っていく。 ・今後も「福井市教育支援委員会」「福井市特別支援教育専門委員会」に障がい福祉課として参加するとともに、地区別協議会において、教育と障がい福祉の連携の場が継続して設定できるようにする。 ・5月29日 特別支援相談ガイダンスにて、障がい福祉課より、保護者向けに福祉の情報提供を行う。 <div>終結</div>
3	【強度行動障害に対する対応】 以下3点について運営会議から調査依頼 ①強度行動障害に繋がらない仕組み ②事業所や教育機関に対しての理解促進の取組 ③成人期までを見据えたサービス調整	教育分野に対しての理解促進を図るため、教員向けの研修を企画・開催。	・10月26日の第2回特別支援教育コーディネーター等地区別連絡協議会にて、強度行動障害の予防という観点で研修を行った。 ・津田先生より「将来を見通した発達障害のある子どもの支援について」と題し予防的観点からご講演いただき、それを踏まえ必要な支援について考えるグループワークを実施した。障がい福祉課からは、ハンドブックを用いて福祉の相談窓口等について説明した。  ・強度行動障害の加算がついている児童(19名)については特に医療・教育・福祉の3者連携が必要である。移行支援という仕組みがあることを、ハンドブックのチラシに掲載し、更新時などに保護者に周知する	・こども部会としての取組は終了。 ・強度行動障害に関する取組は自立支援協議会として継続。こども部会では引き続き教育との連携を続けながら、必要時部会として協力していく。 <div>終結</div>

4	<p>【支援が必要な児童に関するハンドブックについて】</p> <p>支援が必要となった場合に受けられる支援や困ったときに相談できる場所について周知する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に関係機関の協力のもとハンドブックを作成。</li> <li>・令和5年2月に印刷業者に作成依頼し、5月にハンドブックが完成。</li> <li>・各関係機関に配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子完成後、各関係機関に配布。</li> <li>・市HP上で公開し、誰でも閲覧・印刷できるようにした。</li> <li>・HP の二次元コードを掲載した案内チラシを作成し、保護者向けに配布。</li> <li>●ハンドブック修正（3月末時点の情報として掲載）</li> <li>・事業所空き状況について基幹 HP 情報の追加（p4）</li> <li>・学校に関するページの修正（p19）</li> <li>・家族会、クラブ・サークルについての情報の追加（p28）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドブックについての意見はHP上の回答フォームにて収集する。</li> <li>・修正や追加が必要なことがあれば部会にて内容を精査し、ブラッシュアップしていく。</li> <li>⇒まず関係機関名称の変更や追加について見直しを行い、上半期に修正を行う。</li> <li>・必要な人が必要な時に使ってもらえるよう、引き続きハンドブックの周知に努めていく。</li> <li>⇒HP 掲載方法の見直し</li> </ul>
5		・		<p>【新たな地域課題について】 <u>資料2・3</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提起シート①②をもとに、課題について協議する。</li> <li>・障がい児や発達に気付きがある子の相談支援体制について・・・複数の相談窓口があり、それぞれの役割が重なり合っている部分がある。相談窓口の整理や役割の見直しを行っていく必要がある。</li> </ul>